

# 古川隆 物語

(株)福一不動産 代表 古川隆の半生



# 【幼少期～小学生】

- 宮崎県の一ヶ岡(ひとつがおか)小学校で、いもり、やもり等を採り、メジロを飼っていた。
- いつも、山の散策をしアケビ、ぜんまい、栗、タケノコを採取し、自分の秘密基地を作り、友達を招待していた。
- 小学4年から朝日新聞の朝刊、中学**2**年、**3**年は、夕刊を、毎日欠かさず配達していた。





# 【中学生】

- 中学1年：サッカー一部
- 中学2年：相撲が好きでいつも相撲を見ていた。幕内力士の名前は全員覚えていた。
- 中学2年3年は新聞少年として毎日欠かさず夕刊配達をしていた。
- 中学生で皆勤賞を受賞した。
- 中学2年夏休みの間、友人3人とユースホステルに泊まり、**4泊5日**で南九州自転車1周旅行を決行！



# 【高校生】



- 宮崎県屈指の進学校「延岡高等学校」に入学
- 高校1年硬式テニス部、10月から山岳部
- 高校2年：高校総体 山岳部 県大会4位
- 高校3年：高校総体 山岳部 県大会2位
- 5人でフォークソンググループを結成し、コンサート、ライブ活動も行い、文化祭でプロレスも行った。
- 高校3年には延岡高校野球部が、夏の甲子園県大会決勝戦まで進み、応援団員としても活躍した。





# 【高校生・山岳部】

▽延岡高校の集合写真▽



## <山岳部の思い出>

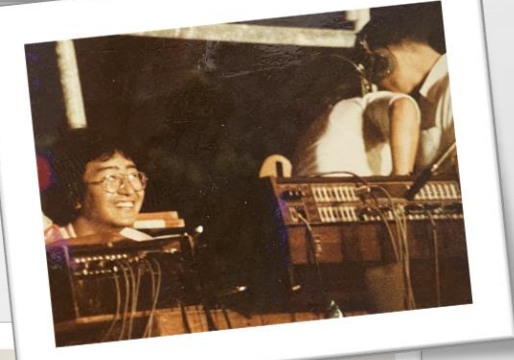
- **3年**: 高校総体宮崎県大会で**2位**の高成績を獲得
- 九州大会に出場資格を得たが、受験勉強を理由に棄権した。



# 【大学生～就職】



- 音楽を志していたので、舞台装置の設営から音響等のアルバイトをしていた。
- 松山千春、長渕剛、中島みゆきが出場するポピュラーソングコンテストに応募し、惜しくも二次審査で敗退した。  
これで才能の限界を感じ、歌手の道をあきらめた。
- 建築科の卒業研究では佐伯・臼杵の武家屋敷の研究発表を行った。  
右記の模型は、図面から起こして作成したものである。
- 大学卒業後は、大手マンションデベロッパー  
(マンション販売実績全国4位)の「株式会社朝日住建」に入社した。





# 【株式会社朝日住建①】

- 入社当時 年商**600**億、社員数**600**人
- 九州支店の営業課に配属される。九州支店の社員**30**人
- 入社**3**年目：九州支店での売上**1**位を獲得
- 入社**4**年目で全国営業マン**1000**人中**1**位を獲得
- 会社の規模も大きくなり、年商**5000**億、社員数**2000**人にまで成長した。



# 【株式会社朝日住建②】

- 平成**3**年：バブル崩壊
- 当時、九州支店の営業課長、北九州営業所の所長を兼任
- 九州支店は**60**名の営業社員がいたが、会社はリストラを始め、最終的に**5**人までになった。
- 入社して**12**年目、ついにリストラの対象となった。
- 平成**7**年**11**月退職



# 【平成7年11月7日】

- 朝日プラザ祇園**305**号ワンルームマンションに机と椅子
- マンション販売を中心として、毎日、物件購入希望者に訪問、説明、仕事が終わるのは、いつも**23**時過ぎ。  
管理物件の入居者からの電話対応も多く、思うように売れない。  
また、次の日は朝から車で移動。  
そんな毎日が続きました。



# 【竹田先生との出会い】

- ランチェスター戦略を学び、商品、地域、客層を絞る。
- 中洲で半径**500M**の不動産屋
- 半径500メートル内に店舗が2700軒、その仲介手数料は年間30億  
30億の市場で10億を目指す。
- チラシを反復投入「月刊ゴジタ」発刊等を継続した。

